



里海体験ツアー ～つた島版～

開催しました！

- 日 時：2022年10月2日（日）9:00～12:30
- 会場：三豊市大蔵島（三豊市仁尾町）
- 講師：かがわ里海ガイド（西森 夏樹 氏、谷 光承 氏、田中 真利子 氏）

◆実施内容

三豊市仁尾町に浮かぶ無人島のつた島で、海釣りや磯の生き物観察などの体験を通して、海で遊ぶ楽しさと親しみ方を知り、海への興味関心を高める里海体験ツアーを開催し、親子19人の参加がありました。

(1) 魚釣り（投げ釣り）

今回は、海の女王と呼ばれるシロギスを砂浜から投げ釣りで狙いました。

魚釣りが初めての人や初心者を対象として、釣りの方法を知ってもらい、自分たちで魚釣りができるようになってもらえたらと、必要な道具や道具の使い方、仕掛け、釣り餌の付け方、釣りをする時の注意点（釣り針への注意、海の危険な生き物など）についてガイドから説明がありました。

まず、仕掛けの針は付けずに何度か釣り竿で仕掛けを投げる練習をした後、仕掛けと餌を付けて釣りを開始しました。最初は、餌のゴカイを釣り針に付けるのは恐る恐るでしたが、慣れてくると自分で付けられるようになっていました。また、竿で仕掛けを投げるのも最初は緊張していた様子でしたが、慣れるにつれて自分で遠くに仕掛けを投げられるようになっていました。

どの家族も魚を釣り上げることができ、キスやベラ、カワハギなどが釣り上げられていました。「初めてキスが釣れた～！」と歓声上がる場面や、大物がかかり糸を切られてしまいドキドキする場面がありました。



釣りをする時の注意



竿の使い方を説明



餌付けにチャレンジ



釣りの様子、親子で真剣



キスが釣れたよ



多くの参加者が魚を釣ることができたよ

(2) 磯の生き物観察、海の生き物観察

多くの生き物の観察ができる磯で生き物観察を行いました。最初にガイドから、磯観察に適した潮汐や潮位、潮間帯の位置により棲む生き物が異なること、磯観察時の注意点などについて話がありました。

その後、バケツとヘラを持って生き物採取と観察をスタート。岩の隙間を見たり、岩を裏返したりしながら色々な種類の生き物を捕まえました。

「ケガキ」「スガイ」「イボニシ」「アラレタマキビ」「タテジマイソギンチャク」「イシガニ」など多くの生き物を観ることができました。

潮間帯上部に棲むタマキビの仲間は、海水を嫌う性質があるため、海水を入れたクリアケースの中へタマキビを入れるとあっという間に海水から上がってくる様子を子どもたちは驚いて見ていました。

磯だけでなく、砂浜にはスナガニがみられたので、「砂を使ってスナガニを捕まえてみよう！」ということで、素早く逃げ回り巣穴に隠れるスナガニを捕まえる体験もしました。

まずは、スナガニの穴を見つけ、この穴の中にカニが逃げ込んだのを確認した後、乾いた砂を穴の中に入れて穴を埋めます。この後、この穴があった場所を手で掘っていきます。穴に入れた乾いた砂が白い目印となり、ここを掘り進めていくと、いきなりスナガニが飛び出てきます。この時がビックリするけど、楽しいみたいです。



磯の生き物観察方法の説明



磯観察の様子



磯観察を楽しむ



捕まえた生き物を確認



砂でスナガニを捕まえる



スナガニ

受講者からは「思っていたより魚が釣れて満足でした」「魚釣りだけではなく、磯の観察もためになりました」などの意見がありました。天気にも恵まれて、各アクティビティを楽しみながら島の時間や風景なども一緒に楽しんでもらえたように感じています。